

VOL. 10



**岐阜県子育て支援
エクセレント企業**

仕事と家庭の両立支援の取組みを実践する企業を紹介！

岐阜県では2007（平成19）年度から、仕事と家庭の両立支援に取り組む「岐阜県子育て支援企業登録制度」を開始し、さらに2011（平成23）年度からは、その中でも特に他社の模範となる優良な取り組みを実施する企業を「岐阜県子育て支援エグゼレント企業」に認定している。今年度新たに認定された企業の取り組みをシリーズで紹介する。

支え合う社風で育児を応援

たんぽぽ薬局（岐阜市・調剤薬局）

社員80%を女性が占めても育休取得後、職場復帰を望み、育児短時間勤務、小学校1年生修了まで定着、育休取得後もすでに18人を超えたため、3月からは2人の育休に社内には「お若い人」入る。

[illegible]

意欲ある職員のキャリアアップを応援するため、細やかな研修制度を用意。育休復帰後の不安払拭にも活用し、離職防止にも寄与している。



世に「本部長、こし組もあって、09年出産した1999年の育児理由の離職者は4人に留まっていた」後のサポートも手厚に専門知識を要する

「たなほば薬局」女性が80%超と圧倒的に多い中、妊娠しても育児を取得して復帰するのが当然のこととして定賞、スキルアップのための研修も充実

育児中も安心感と自立促す

東濃信用金庫（多治見市・金融機関）

休職経験を会員したを〇１０に設立した。会は年6開催。発。人事部。事開発等の横。山盛さんさ47は、特別な。の同伴も子ども。配された。あって当然ではな。れまで460人、周囲に響く心を持つ。が参加し、社内。こが大切と話し、仕事。情愛や育の傾。への責任感切。

妊娠6カ月の加藤麻美さんは、今回初めてカンガルーポケットの会に参加(左から3人目)

[illegible]

格シ育結う軽る「チームなでしこ」が女性社員を対象に座談会を企画。交流を図り女性の活躍を支援する



と、ブラックへの不安にもつながっているようにも見た。こうした取り組みの14年からの1年間を通じて26人がフィナンシャルプランナーなどの資格を取った。

年には女性社員による「東武信用金庫」妊婦育休経験者を集めたカナルポケットの会を設立、育休中のキャリア形成や円滑な職場復帰を促す。また女性社員によるチームで「を結成し、女性目標の取組を推し進

チームでなしに個人で活動中。15年には地域イベントへの出張を企画し、アンケートと個別相談を通じて成約に結び付けられた。同社では女性職員を対象に座談会なども実施しており、コミュニケーションの活性化と、女性のさらなる活躍をバックアップする。